協同学習ワークショップ〈ベーシック〉

－“協同”で学ぶ、“協同”を学ぶ教育実践－

担当者	石田裕久（南山大学名誉教授） 須藤　文（久留米大学）
概要	協同学習では、互いに協力して学習課題に取り組むなかで、学習課題の理解はもとより、対人関係をはじめとしたさまざまな社会的スキルが獲得されます。近年、日本の教育界においても数多くの実践が報告され、その有効性が確かめられています。 このワークショップは、日本協同教育学会(JASCE)が認定した基礎講座で、協同学習法に関する本格的なトレーニングの入門コースです。今回の基礎講座では、協同教育の理念や基本概念を紹介します。そして、参加者の皆さんに協同学習の技法を実際に体験していただきながら、以下の内容を中心に共に考えていきます。 •協同の考え方に立つ学習観・教育観 •グループ学習と協同学習の違い •協同学習の定義 •協同学習に必要な個人思考と集団思考 •各種技法とその応用 このワークショップは2日間にわたりますが、修了者には日本協同教育学会から修了証が出ます。この修了証はより上級の講座への受講資格となります。
日程	2017年8月26日（土）、8月27日（日）10:00～16:00
定員	32名
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	受講料　12,000円〈税込〉
メルマガ講座報告	担当講師　石田裕久　記 協同学習とは、望ましい人間関係づくりを学習指導それ自体のなかで図っていこうとする実践的指導論です。このワークショップでは、「信頼に支えられた人間関係が教育の基盤である」との教育観にたつ協同学習の基礎的な考え方について、協同学習の技法を使って学びました。参加された方々からは「学生の教育に限らず、人との関係を築くための協であることを再認識できた」「たくさんの仲間と話ができ、周りの人にもこの感覚を味わってほしい、職場にも広げていきたい」などの感想が寄せられました。